

平成29年度第1回江田島市総合教育会議 議事録

平成29年11月20日(月)、江田島市役所4階403会議室において、平成29年度第1回江田島市総合教育会議を開催しました。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後3時58分

閉会 午後5時11分

2 出席者

(1) 構成員

市長	明 岳 周 作
教育委員会教育長	御堂岡 健
教育委員会教育長職務代理者	三 島 雅 司
教育委員会委員	樋 上 美由紀
教育委員会委員	柳 川 政 憲
教育委員会委員	今 井 絵里子

(2) 関係者(教育委員会事務局)

教育次長	小 栗 賢
学校教育課長	畠 藤 邦 子
生涯学習課長	問 可 健 治
学校給食共同調理場総括場長	仁 井 雄 一
江田島図書館長兼能美図書館長	加賀見 富士枝
大柿自然環境体験学習交流館長	西 原 直 久

(3) 総合教育会議事務局

総務部長	仁 城 靖 雄
総務課長	矢 野 圭 一
総務課 行政係 主任	山 崎 充 宏

3 傍聴人

なし

4 議事日程

- (1) 議事録に署名する者の決定について
- (2) 報告第1号 平成29年度江田島市教育委員会経営計画(中間評価)について
- (3) 協議第1号 平成30年度新規・拡充事業について
- (4) 協議第2号 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題について
- (5) その他

5 議事の概要

○ 矢野総務課長

定刻より少し早いですけれども、ただ今から、「平成29年度第1回江田島市総合教育会議」を開催いたします。

現在、出席されている構成員は、6名でございます。

本日の議事日程は、あらかじめ、お手元に配付しました「資料1」のとおりでございます。

なお、本日の会議には、構成員の皆様に参加していただいたほか、教育委員会事務局職員6名、総合教育会議事務局職員3名が出席しております。出席者の紹介は、お手元の「資料2」に代えさせていただきます。

それでは、開会のあいさつを、明岳市長が行います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

○ 明岳市長

皆さん、こんにちは。

今日は、お忙しい中、御参集いただき、本当にありがとうございます。

この会議は、皆さん御承知のとおり市長と教育委員会との協議・調整の場ということですが。子どもたちの教育のために、思いを披瀝^{れき}していただいて、この江田島市の教育行政を円滑によいものにしていく会議であろうかと思っておりますので、何とぞ遠慮なく、御意見をいただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

○ 矢野総務課長

ありがとうございました。

この会議の議事進行は、この会議の議長である明岳市長にお願いしたいと思います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

○ 明岳市長

それでは、私の方で会議を進めさせていただきます。

まず、今日は、傍聴人の方がいないということでございました。皆さんの意見を聞いていただく方がいないのは、残念ですが、そういうことで、よろしくお願いいたします。

まず、次第の「(1) 議事録に署名する者の決定について」でございます。

江田島市総合教育会議運営規程第14条第2項の規定によりまして、私とともに議事録に署名する方を決定させていただきます。この件につきましては、平成27年7月21日に開催されました平成27年度第1回江田島市総合教育会議において申合せをしまして、お手元「資料2」の名簿の構成員の下段からの順番としたいと思います。よって、今回は、御堂岡教育委員会教育長にお願いをしたいと思います。

なお、江田島市総合教育会議運営規程第14条第1項の規定によりまして、議事録を作成する者には、総務課 山崎主任を指名いたします。

それでは、次の議事に入らせていただきます。

「(2) 報告第1号 平成29年度江田島市教育委員会経営計画（中間評価）について」でござ

います。

内容につきましては、御堂岡教育委員会教育長に説明を求めます。よろしくお願いいたします。

○ 御堂岡教育委員会教育長

「資料4」に「報告第1号」とあります。「平成29年度江田島市教育委員会経営計画（中間評価）について」です。教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関し、平成29年度江田島市教育委員会経営計画の中間評価を実施しましたので、その内容を会議に報告するものでございます。

詳細につきましては、学校教育課長、学校給食共同調理場総括場長、生涯学習課長及び江田島図書館長兼能美図書館長をして説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

○ 島藤学校教育課長

平成29年度江田島市教育委員会経営計画の中間評価について、説明申し上げます。

教育委員会では、「江田島市教育委員会経営計画」を策定し、取組を進めております。

「資料別冊」1ページを御覧ください。

第2次江田島市総合計画をもとに、教育の目指す方向を「Ⅰ ミッション」、目指す児童生徒像、学校像、市民像、教育委員会像を「Ⅱ ビジョン」としております。「Ⅲ 現状分析」を行った上で、2ページにございますとおり目標や取組の具体を策定しております。中期経営目標は、3年間スパンの目標、短期経営目標は、1年間の目標としております。取組を半年行ったところで、中間評価をいたしました。

3ページからは、短期経営目標ごとにまとめをしております。

それでは、本日は、10ページのA3の自己評価表をもとに説明をさせていただければと思います。

学校教育課分といたしましては、3点ございます。

まずは、「教職員の服務規律の厳正確保を図る。」について、短期経営目標を「教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。」といたしまして、評価項目にございます取組を行っております。

評価指標といたしましては、「懲戒処分件数」でございます。

評価としましては、懲戒処分件数0件を現時点では達成しております。

今後も引き続き、校長会、教頭・事務長会におきまして、「服務規律の確保」に関して講話を行う等、取組を行ってまいります。

続いて、2点目でございます。「児童生徒の学力の向上を図る。」について、短期経営目標である「習得した知識・技能を活用する力を向上させる。」に取り組んでおります。

評価指標といたしましては、広島県「基礎・基本」定着状況調査（タイプⅡ）の平均通過率で、「すべての実施教科で県平均を5ポイント以上、上回る。」という目標を定めております。

評価といたしましては、中学校におきましては、英語、理科は5ポイント以上上回りましたが、小学校すべての教科、中学校国語、数学で目標値を超えることはできませんでした。

改善策といたしまして、第2回「学びの変革」推進協議会を10月に開催いたしました。そして、引き続き「学力向上チェックリスト」を活用した取組をしてまいりたいと思っております。

続いて、3点目の「児童生徒の豊かな心を育成する。」について、短期経営目標である「不登校児童生徒数を減少させる。」に取り組んでおります。

評価指標といたしましては、「不登校児童生徒の割合」です。

現在、不登校児童生徒数は、小中学校ともに1名ずつで、割合としては、小学校は0.12%、中学校は0.25%となっております。

改善策といたしましては、9月に実施しました「いじめ撲滅月間」の取組を自校に生かすこと、教育相談体制の充実を図ること、人権教育、自己・他者理解、支えあう集団づくりの推進について指導助言を行うことを挙げております。

以上で、学校教育課分の説明を終わります。

○ 仁井学校給食共同調理場総括場長

続いて、共同調理場分を御説明いたします。

中期経営目標として、「江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。」を目標に掲げております。

短期経営目標としては、「学校給食の地場産品の使用割合を増加させる。」で、評価指数は、「地場産品の使用割合」としております。

平成28年度の実績値は、県平均が30%のところ、江田島市については、34%でした。

目標値は、平成29年度36%と定めております。

自己評価の結果としては、43.8%で、この数値は、県教委が6月下旬に実施した調査における回答の数値となっております。43.8%という高い数値となっているのは、日常的に地場産品を使用している結果と考えております。

改善策といたしましては、今後、江田島産オリーブを使用した献立を考案する等して、食育教材として活用していこうと考えております。

以上で、共同調理場分の説明を終わります。

○ 問可生涯学習課長

続きまして、生涯学習課から2点ほど説明させていただきます。

では、1つ目の目標から説明します。

中期経営目標を、「歴史資料館の活性化を図る。」としております。

短期経営目標を、「学びの館、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。」としております。

この目標を受けまして、評価項目を5点ほどお示ししております。

次に、評価指標を来場者数としており、目標値は、学びの館9,000人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）800人であり、中間評価では、学びの館の来場者数は4,633人で、自己評価の結果は51.4%、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数は602人で、自己評価の結果は75.2%となっております。

今後の改善策では、学びの館及び大柿地区歴史資料館において、ふるさと歴史講座を開催することや事業の周知や施設のPRをすることを挙げております。

続いて、2つ目の目標を説明します。

中期経営目標を、「公共スポーツ施設の利用促進を図る。」としております。

短期経営目標を、「スポーツセンターのトレーニング室の利用者数増加を図る。」としております。

この目標を受けまして、評価項目を4点ほどお示ししております。

次に、評価指標を利用者数としており、目標値は8,000人であり、中間評価では、利用者数は4,669人で、自己評価の結果は58.3%となっております。

今後の改善策では、市広報及びフェイスブック等により、施設のPRを引き続き行うこととトレーニング室を利用した健康教室を開催することを挙げております。

以上で、説明を終わります。

○ 加賀見江田島図書館長兼能美図書館長

図書館の中期経営目標を、「図書館の充実を図る。」としております。

短期経営目標を、「図書館年間貸出冊数の増加を図る。」としております。

評価指標を年間貸出冊数とし、平成29年度は114,000冊を目標値としております。

9月末現在では、55,827冊で、達成指数は、49.0%となっております。

今後の改善策として、図書館利用のチラシを配布・PRの強化と読書貯金通帳のPRの強化を挙げております。

以上で、報告を終わります。

○ 明岳市長

ありがとうございます。

ただ今、「(2) 報告第1号 平成29年度江田島市教育委員会経営計画(中間評価)について」の説明を受けました。これについて、質問や意見はございませんでしょうか。

○ 明岳市長

この評価は、何月末現在ですか。

○ 畠藤学校教育課長

中間評価ですので、9月30日現在でまとめております。

○ 御堂岡教育委員会教育長

50%が目安になります。

○ 明岳市長

読書貯金通帳は、どんなものですか。

○ 加賀見江田島図書館長兼能美図書館長

普通の預金通帳と同じような形を採らせていただいておりますが、いつ何を借りたかという記帳ができるようになっております。今は、シールの打ち出しも可能な館もありますので、それを利用したい方については、シールの打ち出しをお渡しするようにしています。

○ 明岳市長

この通帳は、何冊くらい出ていますか。

- 加賀見江田島図書館長兼能美図書館長
今年は、まだ数値を取っておりません。私が前年の数値を持っておりませんので、申し訳ございません。
- 明岳市長
読書貯金通帳は、いつからできましたか。
- 加賀見江田島図書館長兼能美図書館長
2年くらい前と聞いております。昨年も、強化を図るということで作っております。シール型になったのが、この4月1日からで、それ以前は、レシート型の打ち出しで本人さんが糊で貼付けを行っておりました。
- 御堂岡教育委員会教育長
特典がありますか。
- 加賀見江田島図書館長兼能美図書館長
ありません。自分が読んだ成績を残すものです。今までは、自分が何を読んだかが分からないということで、貯金通帳という形で覚書ができるものを作ろうというのが発端です。
- 御堂岡教育委員会教育長
通帳がいっぱいになったら、何か特典が付くようなものがあればよいですが。
- 加賀見江田島図書館長兼能美図書館長
今のところは、ございません。
- 御堂岡教育委員会教育長
検討したらどうですか。利子が付くのです。
- 加賀見江田島図書館長兼能美図書館長
個人が読んだ財産の記録という形で、通帳という名称にしています。
- 明岳市長
六角紫水展が11月23日からありますが、イメージはどのようなものですか。
- 問可生涯学習課長
チラシがあります。
- 御堂岡教育委員会教育長
冊子があります。パンフレットの前案で、作風とか経歴が書かれています。
23日のイメージを話してみてください。

- 問可生涯学習課長
当日、開会行事としまして、11時から、広島県立美術館の学芸員の方が来られまして、講演会を開催する予定としています。六角紫水にまつわる話や講義が、1時間くらいです。
- 明岳市長
講演会の場所は、どこですか。
- 問可生涯学習課長
大柿地区歴史資料館と同じ棟で、隣が大柿老人福祉センターなのですが、その2階の大広間で開催します。
- 明岳市長
この人に縁のある方は、今、おられますか。
- 問可生涯学習課長
親戚というか、六角紫水の旧姓が藤岡さんというお名前で、親戚になる方が灘尾さんと関係があるのではないかと、どなたか名前までははっきりしませんが、そのようにお聞きしています。直系は、おられないそうです。
- 明岳市長
六角というのは、本名ですか。
- 問可生涯学習課長
六角家に養子に行かれたということです。
- 御堂岡教育委員会教育長
本名は、藤岡仲太郎さんです。
- 明岳市長
せっかくだから、たくさんの人に来てもらいたい。正直、知らなかったです。
- 樋上教育委員会委員
この人の作品が、たくさんあるのではないですか。それをスライドではないですが、ずっと見れるものはないですか。ビデオのようなものです。
- 問可生涯学習課長
DVDを見れるようにしていましたが、NHKが作った番組を流したものです。
- 樋上教育委員会委員
昔、すごくよい番組がありました。そのようなものを見せたら、誇りに思いますよね。あそこ

にあるものだけではなくて、素晴らしい作品がたくさんあります。

○ 問可生涯学習課長

そうですね。この度は、広島県立美術館に所蔵されている作品のうち、20点くらいを市に貸し出していただいて、特別展示を行います。学芸員も来られて、いろんな解説もされますので、六角紫水の業績、偉業を知ることができると思います。

○ 樋上教育委員会委員

昔、ひろしま美術館で六角紫水展がありましたよね。いろんな資料があって、社会見学で子どもたちを連れて行ったことがあります。「これ、大柿の人よ。」と言って。子どもたちが誇りに思えるような内容になればよいと思います。

○ 問可生涯学習課長

子どもが理解できるようなパンフレットも用意して、子どもが読めるように工夫しました。

○ 明岳市長

小中学校の子どもたちは、この期間中、見学できるようになっていますか。

○ 畠藤学校教育課長

小中学校については、校長会で指導をしたところでございますけれども、教育委員会の方からバスを出しますということで、学校の方には周知しております。

○ 明岳市長

せっかく県の方からも借りているわけですから。なかなか見に行けないではないですか。是非、来てもらうようにしてください。

○ 御堂岡教育委員会教育長

六角紫水は、20代のときにキンビールのラベルを書いたとされているわけですが、今回、キンビールとの関係は、何かありますか。

○ 問可生涯学習課長

キンビールにお声掛けをして、後援に入ってくださいことになりました。

後援に入ってください中で、協力ではないですが、投込みとかマスコミ報道をしてもらえということ。また、粗品もいただいております、どう活用するか考えています。

○ 明岳市長

ラベルに「六角紫水 江田島市」と入れてみるとかは、なかったのですか。

○ 問可生涯学習課長

そこまでは難しかったです。キンビールの広島の方から来ていただいた方と話をしたのです

が、キリンビールの中国地方の統括部長が、教育委員会委員長をされていた平岡昭さんの御子息で、こちらとも縁のある方で、六角紫水の地元であるという話をさせていただきました。

○ 明岳市長

キリンビールのラベルは、1889年、明治22年ですか。旧海軍兵学校が明治21年に移転してしまっていて、その翌年には、もう全国に出て、130年も使っています。キリンビールのラベルが一番分かりやすいですね。知名度が高いです。

○ 御堂岡教育委員会教育長

中尊寺金色堂を修復した人で、国宝をつくったと言われていています。中尊寺金色堂を元の形から復元しており、もっと価値が高まると思います。

○ 明岳市長

子どもたちに「大柿町大原出身のこの人はすごいよ。」と言えるようになってもらえるとよいのですけど。

○ 明岳市長

その他に何かないですか。

なければ、次の議事に行かせていただきます。

「(3) 協議第1号 平成30年度新規・拡充事業について」でございます。

この内容についても、御堂岡教育委員会教育長に説明を求めます。よろしく願いいたします。

○ 御堂岡教育委員会教育長

「協議第1号」ということで、「平成30年度新規・拡充事業について」です。平成30年度当初予算の編成を迎えるに当たり、教育委員会の権限に属する事務に関して協議する必要がありますので、会議の意見を求めるものでございます。

詳細につきましては、学校教育課長、生涯学習課長及び大柿自然環境体験学習交流館長をして説明申し上げます。よろしく願いいたします。

○ 畠藤学校教育課長

学校教育課の平成30年度の新規事業として、2点説明をさせていただきます。

「資料別冊」11ページを御覧ください。

まず、新規事業の「切串小学校校舎大規模改修工事事業」について、説明をいたします。

来年度は、切串小学校の校舎の大規模改修を行いたいと考えております。

「1 現状」といたしまして、「(1) 校舎の老朽化が見られる」ということです。切串小学校の校舎は、昭和60年3月に建設されたものであり、新耐震基準で建設されておりますが、老朽化が見られます。特に、運動場側の校舎外壁のコンクリート剥落がありまして、応急処置をしている状態となっております。最近の修繕内容や費用につきましては、資料にあるとおりでございます。

続いて、「(2) トイレの洋式化率が低い」ということがあります。文部科学省が実施しまし

た調査の結果では、全国の洋便器の割合は、43.3%でございました。江田島市では、「各トイレに一つ程度和便器を設置し、他は洋便器」とすることを目標に整備を進めていきたいと考えております。現在の江田島市全体の洋式化率は、51.2%、切串小学校は、28.5%ということになっています。

次に、「(3) 空調設備が整っていない」ということとございます。平成28年度と今年度市内の全中学校に空調設備を設置したところではありますが、平成30年度に小学校の空調設備設置工事設計、平成31年度から平成32年度にかけて、設置工事を実施したいと考えております。切串小学校につきましては、大規模改修工事の設計及び改修工事と同時に、空調設備について、設計と工事を行いたいと考えております。

「(4) その他」といたしましては、バリアフリー化等について記載しております。

「2 事業の目的」としましては、切串小学校校舎の大規模改修を行い、教育環境を充実させるということとございます。

「3 事業の内容」としましては、概算事業費として、基本及び実施設計業務の設計委託料の1,595万4千円を見込んでおります。

今後のスケジュールにつきましては、下の表のとおりでございます。

続いて、「資料別冊」12ページを御覧ください。

平成30年度新規事業「小学校施設空調設備設置事業」についてでございます。

先ほど申し上げましたとおり、平成28年度と今年度に中学校4校に空調設備を設置いたしました。来年度は、小学校に空調設備を設置していきたいというものでございます。

「1 現状」といたしまして、「(1) 地球温暖化」を挙げております。「ア 気温の上昇」として、20年前と今年度の夏場の平均気温の比較を行いました。平成29年7月から9月における呉地域の気温調査でございます。括弧内は、20年前としております。7月は、平均気温、最高気温ともに1.9度上昇しているという状況です。真夏日は、10日多くなっております。実は、9月ですが、今年の9月は雨天の日が多く、20年前の方が平均気温、最高気温ともに高くなっております。次に、「イ 学校環境衛生基準における教室等の温度の基準」としては、「10℃以上、30℃以下であることが望ましい。」とされておまして、〔改訂版〕学校環境衛生管理マニュアルでは、「児童生徒等に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、冬期で18～20℃、夏期で25～28℃程度である。」とされています。

平成27年7月から9月に、中学校の室温調査を行いました。室温は、表のとおりでございますが、8月には、最高気温として37度を記録しております。

「(2) 夏季休業中の課業等」についてですが、近年では、警報発令があった場合、学校を休業させることとしております。近年、警報発令が多くなったことで、授業時間数確保のため夏季休業中に課業日を設ける学校が多くなっております。また、夏季休業中に教室で補充学習等をさせるということもございます。夏季休業中に小学校において授業等を行った日数を調べましたところ、平成29年度は、最大で18日あったということとございます。現在は、教室で扇風機を回しながら学習しているという状態とございます。

「(3) 近隣市町の普通教室及び特別支援学級教室への設置状況」でございますが、詳細につきましては、「資料別冊」13ページの別紙1のとおりでございますけれども、呉市につきましては、中学校は平成28年度設計、平成29年度工事完了、小学校は平成29年度設計、平成30年度工事完了予定と聞いております。そして、広島市は、小中学校の普通教室、特別支援学

級教室、音楽室、図書室、パソコン教室は一部特殊事情を除いて設置済みで、他の特別教室について今後順次整備予定と聴取りをしております。

「(4) 市内小中学校エアコン設置状況」としては、「資料別冊」14ページの別紙2を御覧ください。

今後の計画といたしましては、「2 事業の目的」として、市内小学校の普通教室及び特別教室(集会室)にエアコンを設置し、教育環境を充実させていきたいと考えております。

「3 事業の内容」としましては、平成30年度概算事業費として、小学校の普通教室及び特別教室(集会室)のエアコン設置工事の設計を行うこととしまして、5校分の設計委託料として1,832万8千円としております。

今後のスケジュールといたしましては、平成30年度に空調設備設計、平成31年度に空調設備工事を3校、平成32年度に2校実施したいと考えております。

以上で、学校教育課分を終わります。

○ 問可生涯学習課長

生涯学習課からは、新規事業の「大柿公民館整備事業」と拡充事業の「スポーツ推進事業」の2つについて、御説明します。

「資料別冊」15ページを御覧ください。

まず、新規事業の「大柿公民館整備事業」について、御説明します。

「1 現状」ですが、大柿公民館は、昭和54年2月竣工で築38年経過しており、老朽化も進み、耐震基準も満たしていないことから、早期の改修の対応が必要であると考えております。

次に、「2 事業の目的」ですが、将来的には、地域の核となる市民センター化を計画しており、これをにらみ、かつ、施設の状態や立地環境等を踏まえた整備を検討する必要があります。来年度から大柿公文書館等の周辺施設や前面道路等の周辺状況も踏まえ、大柿公民館整備事業を実施することを考えております。

最後に、「3 事業内容」ですが、「2 事業の目的」を受けて、大柿町唯一の公民館施設として、利用者の利便性向上を重視することはもちろんのこと、駐車場や会議室、集会室等の新たな整備により、また、隣接している本庁業務運営の利便性の向上も図られることもあり、現公民館を解体撤去し、同所へ新築する計画とすることを考えております。

なお、過疎債の活用も視野に、計画していきたいと考えております。

また、解体工事で施設が無くなるため、利用者等へは、代替施設での使用等を理解してもらうよう計画を進めたいと考えております。

来年度の事業費は、大柿公民館新築工事基本設計業務委託料1,512万7千円と、大柿公民館解体工事設計業務委託料656万6千円で、合計の事業費が2,169万3千円を予算計上したいと考えております。

今後のスケジュールは、下の表のとおりで、平成31年度は大柿公民館新築工事实施設計業務委託と大柿公民館解体工事を、平成32年度は大柿公民館新築工事を、平成33年度は供用開始、移設したいと考えております。

次に、拡充事業の「スポーツ推進事業」について、御説明します。

「資料別冊」16ページを御覧ください。

これまで江田島市スポーツ振興計画に基づき、スポーツ振興事業を行ってきたところでありま

すが、今年度策定された江田島市スポーツ推進計画に基づき、来年度からスポーツ振興事業をスポーツ推進事業に改めて、これを契機に拡充事業を行っていきたいと考えております。

では、「1 現状」ですが、先ほど申しましたとおり、江田島市スポーツ推進計画が策定され、その具体的施策の実施が求められていると考えております。

次に、「2 事業の目的」ですが、市民一人一人が自分に適したスポーツを見つけ、それぞれの目標に応じて取り組むことができる生涯スポーツ社会の実現を目指すため、スポーツ推進計画に基づき、次の3つの目的を挙げております。

1点目が、「するスポーツ」の推進でございます。スポーツに関する情報発信やスポーツ体験を通して、スポーツ活動の選択肢の提供と啓発推進を図ることとしております。2点目が、「みるスポーツ」の推進で、スポーツを身近なものだと感じてもらい、感受性を深めることとしております。3点目が、「ささえるスポーツ」の推進で、障害者が安心してスポーツを楽しめるよう、環境づくりを目指すこととしております。

最後に、「3 事業内容」ですが、「2 事業の目的」を受けて、3つの項目を挙げております。1つ目の項目が、江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介で、内容は、江田島市スポーツセンターロビーに江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介コーナーを設置し、併せて、市内のスポーツ団体の活動紹介コーナーも設置し、参加を呼び掛けるということで、事業費44万2千円を見込んでおります。2つ目の項目が、パブリックビューイングの開催で、内容は、様々なスポーツイベントに合わせて、パブリックビューイングを開催することとしております。事業費として、42万円を見込んでおります。3つ目の項目が、障害者のスポーツ参加の支援で、内容は、健康づくりやスポーツを通じて交流の輪を広げることができるように、福祉保健部門、スポーツ団体、スポーツ推進委員等と連携して、障害者が参加しやすい環境づくりに取り組んでいきたいということで、事業費43万3千円を見込んでおります。合計で129万5千円の予算計上をしたいと考えております。

以上で、説明を終わります。

○ 西原大柿自然環境体験学習交流館長

大柿自然環境体験学習交流館、以後「さとうみ科学館」と呼ばさせていただきますが、さとうみ科学館からは、新規事業といたしまして、「さとうみ科学館リニューアル整備事業」について説明いたします。

「資料別冊」17ページを御覧ください。

まず、「施設整備を行う目的及び理由」については、「2 事業を実施する理由」にある3つです。

1つ目に「施設の課題」、2つ目に「事業の充実」、3つ目に「多様化する事業への対応」としてしております。

まず、1つ目の「施設の課題」についてですが、さとうみ科学館は、これまで旧深江小学校の校舎を有効活用して、理科教育・環境教育の推進に貢献できる教育施設として事業を充実させてまいりました。しかしながら、昭和44年竣工の施設であり、老朽化が進み、新耐震基準も満たしていないという安全性の問題、展示スペースの確保やバリアフリー、LED照明等といった機能面の不足という現状から、早期の改修等の対応が必要な施設であり、平成28年度決算審査特別委員会でも、早急な対応を求める要望が出されております。

また、2つ目の「事業の充実」、3つ目の「多様化する事業への対応」についてですが、「里海」を教育資源とした江田島市ならではの「特色ある教育」を推進し、自然史系博物館及び理科センターの役割を担うさとうみ科学館のような教育施設は、他に類似施設がなく、今後、観光資源としての役割を担うことも増加すると考えられるため、立地環境等を踏まえた整備方針を検討し、整備を行っていくことが重要課題となっております。

ただし、単に経年劣化に伴う施設の改修や建替えという考え方ではなく、さとうみ科学館が持つ機能やコンテンツをより効果的に、また、継続的に活用し、利用者の利便性向上と幅広いニーズへの対応を行っていくためにどのような整備が必要なのかを検討し、施設整備、それから、環境整備を計画・実施していく新しいプロジェクトとして進めてまいりたいと考えております。

これらのことを踏まえ、来年度、「さとうみ科学館リニューアル整備事業」を立ち上げ、関係部局と連携を図りながら、施設整備に関する基本計画を策定したいと考えております。平成30年度概算事業費といたしまして、調査検討業務委託料等336万3千円を見込んでおります。

最後に、今後のスケジュールといたしまして、平成30年度に基本計画を策定した後、平成31年度に基本設計及び実施設計の業務委託、平成32年度に新築工事を行い、平成33年度リニューアルオープンを考えております。平成34年4月に館設置20周年を迎えることから、平成34年4月には、リニューアルオープン1周年及び館設置20周年を迎えることができるよう計画的に進めてまいりたいと考えております。

以上で、さとうみ科学館分の説明を終わります。

○ 明岳市長

ありがとうございました。

「(3) 協議第1号 平成30年度新規・拡充事業について」の説明を受けました。これについて、質問や意見はございませんでしょうか。

○ 明岳市長

パブリックビューイングについて、「様々なスポーツイベントに合わせ」とありますが、具体的には、どういうスポーツで、どこをするのですか。

○ 問可生涯学習課長

スポーツセンターのロビーで、例えば、カープの応援を一緒に楽しむというものを行っていただけると考えています。

○ 明岳市長

日本シリーズとかですか。42万円でするのですか。

○ 問可生涯学習課長

プロジェクターでスクリーンに映して行うことを考えています。費用は、事務費的なもので考えています。その他に、広報用のチラシ代を上げています。

- 明岳市長
大々的な、野球場でやるようなものではないのですか。
- 問可生涯学習課長
試みとして、まず、そういう規模からやっていって、スポーツに関心を持っていただく、裾野を広げていけたらと思います。「するスポーツ」があって「みるスポーツ」があるように、「みる」側の設定をしていったらどうかなと思います。
- 明岳市長
「様々なスポーツイベントに合わせ」とありますが、何回かするのですか。
- 問可生涯学習課長
できれば、数回。毎月は、難しいです。プロジェクターなので、テレビ中継を皆で「みる」ような感じになります。
- 御堂岡教育委員会教育長
それは、OKですか。
- 問可生涯学習課長
オフィシャルは、確認します。
- 御堂岡教育委員会教育長
せっかくなので、目玉を一つやっていただきたいと思います。
- 明岳市長
来年は、NHK杯国際フィギュアスケート競技大会が広島県で行われます。そこへオリーブ冠も出そうとしているのですが、そこでやれば、PRできます。
あと、小学校の空調設備工事について、2校が平成32年度にあるのですけれども、これは、どことどこが残るのですか。
- 畠藤学校教育課長
財政計画といたしましては、江田島小学校と鹿川小学校です。
- 明岳市長
どうせするのであれば、平成31年度にできないのですか。
- 畠藤学校教育課長
合併特例債の関係もあると思いますので、できればやりたいです。

- 明岳市長
できたら、平成31年度に一度にした方がよい気がします。
- 小栗教育次長
一度に5校となると、業者の関係もあるのではないですか。
- 明岳市長
どうせやるのなら、合併特例債を使えるので、できるだけ早くしたい。
- 御堂岡教育委員会教育長
涼しくなったら、夏休みも、しっかり勉強ができます。
- 明岳市長
そうなったら、また成績が上がるかもしれません。広島県一が江田島市になるかもしれません。
- 小栗教育次長
総務部長、大丈夫ですか。
- 仁城総務部長
予算上のこともございます。また、工事をやっていこうと思えば、都市整備課の業務をどう回していくかということがあります。平成31年度に向けて、合併特例債の期限までに新規事業がたくさんございます。そういったものを含めて、全体的に工事量を図りながらやらないといけな
いところもございます。早くやりたいというのはよく分かりますし、その方がよいと思ってお
りますけれども、そういったものを含めて、再度、検討させていただければと思います。
- 明岳市長
これこそ、外注すればよいと思います。
その他に何かありませんか。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
市民センターの資料について、大柿市民センターとなれば市民生活部の話になりますが、中身
をどういった施設にするのか話し合わないといけません。どのような施設になるのかなと思いま
す。
- 明岳市長
その点、どうですか。
- 仁城総務部長
市民センターについては、組織のことがございます。現在は、正式に決定していないというこ
とがございますので、公民館という名前の中で新規事業が上げられていると考えています。

今後の予定でございますけれども、平成30年度に公民館という名前を全て廃止させていただき、市民センター又は交流プラザという形で進めさせていただきたいと思っております。

現在、様々な公民館活動をされているところでございますけれども、公民館活動と自治会活動は同じような方がされているということもございまして、全体的に市民センターをお願いしたいと思っております。ただし、公民館活動が無くなるわけではございません。当然、今、行っている講座ですとか、江田島、大柿、中町の中央公民館でされている公民館活動は、形を変えて市民センターの中で同じようにやっていき、生涯学習課が支援していくという形で進めていきたいと考えております。

○ 明岳市長

公民館法の評判が悪くて、市民が利用しやすいように変えていっています。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

さとうみ科学館は、施設ができて、中身が伴わなければいけません。職員を含めて、運営の仕方を考えていただきたいと思います。

○ 明岳市長

おっしゃるとおりです。

まさに、江田島の宝です。最初に拝見して、すごい施設だと思いました。カブトガニが見れて、子どもたちが感動しますよね。同じ格好をしていて、オスとメスに分かれるのが13年、14年に1回と、江田島に住んでいる人も、あまり知らない。自然史系博物館が県内にないということなので、それが江田島にあるということになると、よいPRになります。是非、県にも協力してもらえようように話をしにいきたいと思います。

それと、人材ですよ。これを継承できるような形にしていきたい。

○ 柳川教育委員会委員

単体だけではなくて、プロジェクトとして巻き込んで、活性化するような施設になるとよいと思います。

○ 明岳市長

そうですね、楽しみです。考えたら、予算がいくらあっても足りない。やりたいことが、いくらでもあります。

○ 御堂岡教育委員会教育長

さとうみ科学館については、館ありきで始まったのではなく、ソフトから始まった理想的な形だと思います。市を挙げて、いろんなものを巻き込んで、よい施設になればと思います。

○ 明岳市長

笠岡市長とお会いしたときに、「江田島にはカブトガニがいて、博物館があって、論文を発表したんですよ。」と話すと、全然知らなくて、びっくりされていました。これは、宝物なんですけ

れども、知られていないんです。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

江田島の中でも関係者や子どもたちは知っていますけど、一定の年以上は、知りません。

○ 明岳市長

PRをして、まずは市民、そして地域の人に知ってもらえるように努力していきます。

その他によろしいですか。

○ 明岳市長

続いて、次の議事でございます。

「(4) 協議第2号 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題について」、御堂岡教育委員会教育長、説明をお願いいたします。

○ 御堂岡教育委員会教育長

「協議第2号」ということで、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題について」です。

本市の実情に応じて重点的に講ずべき施策として、教育委員会の権限に属する事務に関して協議する必要がありますので、会議の意見を求めるものでございます。

詳細につきましては、学校教育課長をして説明申し上げます。よろしく申し上げます。

○ 畠藤学校教育課長

学校教育課から児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題について、説明をさせていただきます。

「資料別冊」18ページを御覧ください。

「暴力行為、いじめ、不登校の状況」については、一覧表になっております。平成25年度から今年度の10月末現在の推移を、表でお示ししております。

とりわけ、「いじめ」の項目を見ていただきますと、小学校では、平成25年度3件、平成26年度1件、平成27年度13件、平成28年度10件、平成29年度は2件となっております。平成27年度から平成28年度にかけて大きく増加しているところでございますが、こちらは児童生徒の自殺を受けまして、文部科学省から「ささいなけんかにも注目して、認知する」という指導がございまして、認知件数が増加しているという背景がございまして、

中学校のいじめにつきましては、平成25年度2件、平成26年度5件、平成27年度3件、平成28年度1件、平成29年度は1件となっております。

全体的に見まして、江田島市における生徒指導上の問題は、小学校、中学校ともに全国平均と比較し、多くはないと考えております。今後も引き続き、児童生徒が自ら判断し、行動し、その結果に責任を持つという自己指導能力を育成してまいりたいと考えております。

以上で、説明を終わります。

○ 明岳市長

ありがとうございます。

「(4) 協議第2号 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題について」の説明につきまして、質問等はございませんでしょうか。

○ 明岳市長

全国平均に比べて、どうですか。

○ 畠藤学校教育課長

「暴力行為、いじめ、不登校の状況」の表を見ていただきますと、県の平均と江田島市を比べております。

いじめにつきましては、1,000人当たりの発生件数というところで見えていくわけですが、小学校が昨年度でいいますと、県平均9.9で江田島市が12.1ということで、江田島市の方が多。全国平均と県平均が大きく変わりがございませんので、小学校は県平均より多かったということです。中学校でいいますと、県平均、全国平均の方が高いという傾向がございます。

○ 明岳市長

平成27年度と平成28年度は、ささいなけんかでも報告することになったから、一気に増えたということですが、少な過ぎる気がします。

○ 明岳市長

生徒指導上の件については、その他にございませんか。

○ 明岳市長

ないようでしたら、次の議事に入らせていただきます。

「(5) その他」でございます。

この会議において、何か調整しておくべきことがございましたら、お願いします。遠慮なく御発言をお願いします。

○ 明岳市長

ないようでしたら、本日の会議を終了させていただきます。長時間、ありがとうございました。それでは、司会を事務局に返します。

○ 矢野総務課長

皆様、本日は、ありがとうございました。

以上をもちまして、「平成29年度第1回江田島市総合教育会議」を終了します。